

経営比較分析表（令和6年度決算）

山形県 大江町

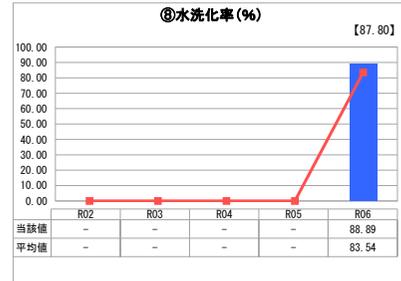
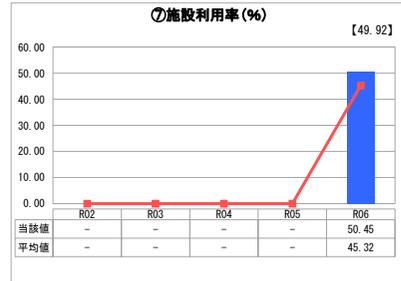
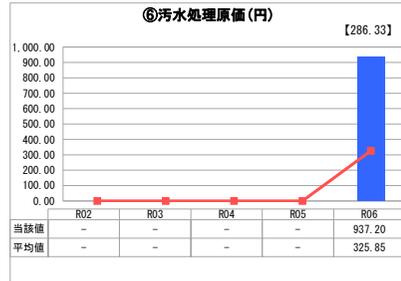
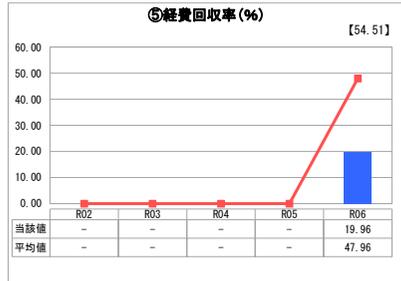
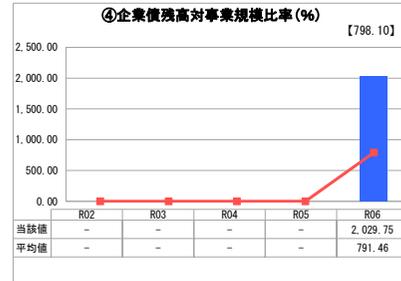
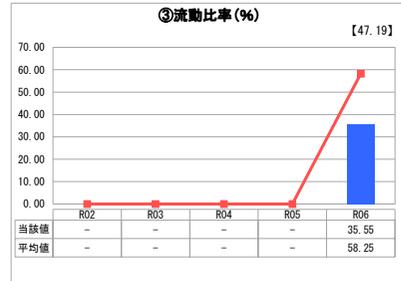
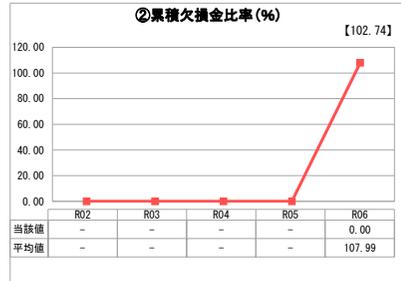
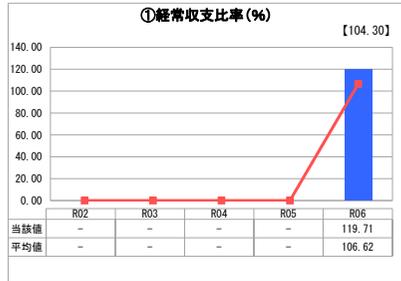
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	80.33	6.17	75.03	3,685

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,062	154.08	45.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
432	0.54	800.00

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①⑤⑥経常収支比率は類似団体および全国平均を上回り、収支は総体として黒字基調です。一方で、経費回収率は類似団体平均を下回り、汚水処理原価は平均を大幅に上回るため、使用料収入による費用回収力が弱く、一般会計繰入に依存している構造となっています。維持管理の標準化・予防保全の徹底、未収対策の強化、需要に即した使用料体系の点検等を通じて費用対効果の向上を図ります。

②③累積欠損金比率は0であり、過年度からの欠損の累積が生じていません。一方、流動比率は類似団体平均を大きく下回っていることから、短期の支払余力に注意が必要となります。資金繰りの見える化や修繕・更新の標準化により運転資金の安定化を図ります。

④類似団体平均を大幅に上回る水準です。過去の投資規模や更新時期の集中に伴う影響を踏まえつつ、長期財政収支見通しに基づく償還計画の点検と、将来投資の標準化に努めます。

⑦流入特性や処理能力との整合を踏まえた運転状況の最適化を進め、維持管理費の抑制と処理効率の向上を図ります。

⑧平均をやや上回っているが、処理区域内人口が少なく、新規接続が見込めない地区であるため、将来の需要見通しに即した設備更新と計画的な維持管理を行います。

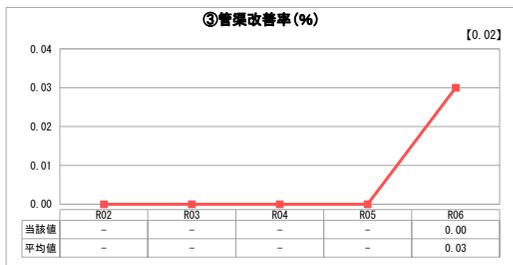
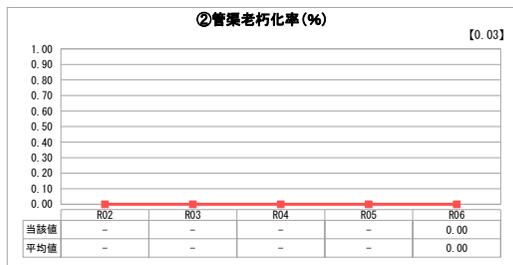
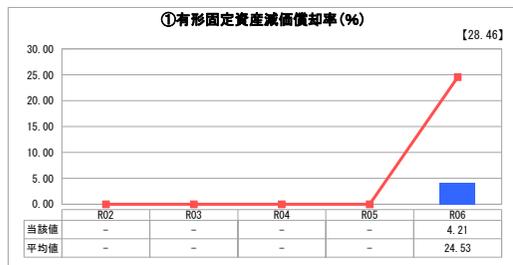
2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は類似団体平均より低い値となっています。将来的に更新需要の高まりが想定されることから、更新計画の前倒し・標準化を組み合わせ、財源確保と併せて計画的に対応します。

②管渠の老朽化は顕在化していませんが、供用年数に応じた機能診断を継続し、重点区間の抽出と予防保全に努めます。

③管渠改善については、故障履歴・点検記録・重要度による優先順位付けを明確化し、小規模でも着実な更新を積み上げます。計画的更新を進めると共に、突発的な修繕の抑制とライフサイクルコストの最小化を図ります。

2. 老朽化の状況



全体総括

当町の農業集落排水事業は、収支が黒字基調で推移しつつも、使用料収入による費用回収力の弱さとコスト水準の高さが構造的課題です。経常収支が一定の水準にある一方で、経費回収率は平均を下回り、汚水処理原価も大きくなっています。短期の資金余力も十分とは言えないため、維持管理の標準化・予防保全、未収対策と使用料体系の点検、運転最適化によるエネルギー費の抑制を一体で進めます。

老朽化の面では、将来的に対応が必要であることから、劣化度に応じた更新の優先順位付けと財源の標準化を通じて計画的な更新を推進します。総じて、債務・使用料・更新投資を中長期見通しのもとで最適化し、一般会計への依存度の低減と事業の持続可能性を高めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。